２０２４年１月臨時会討論

日本共産党の松尾信次です。討論をおこなう前に、能登半島地震で亡くなられたみなさんにお悔やみ申し上げます。被災されたみなさんにお見舞いを申し上げます。

それでは、日本共産党を代表して、議案第１号一般会計補正予算（第１０号）について、賛成討論をおこないます。

まず、生活困窮者の自立支援に要する経費、低所得者給付金については、可能な限り早く確実に支給できるよう、もとめます。また、今日の物価高の下で、国として消費税減税、最低賃金の引き上げなど施策の具体化がもとめられます。寝屋川市としても、ひきつづき市民生活を守る施策の具体化をすすめるよう、もとめます。

次に、公共交通等の充実とサービスの向上に要する経費です。

昨年１１月１日、京阪バス株式会社が市内3路線の今年３月末での廃止を公表し、市民から存続を願う声が多く寄せられました。今回の提案は、寝屋川市として、今年４月から１０人乗りの乗り合いバスを３路線で京阪バスと同時刻・同路線で運行するもので、市民の意見を反映し、公共交通を守るものとして評価します。

今後具体化する中で、市民の意見をしっかり聞き、実状にみあったとりくみとなるよう、市としての尽力をもとめます。

同時に、今回の寝屋川市のとりくみに対して、国や大阪府の補助がないことは、まことに残念です。過疎地に限らず、大都市部でも住民の足を守るため、国と大阪府が財政的な措置を行うよう市として求めるべきです。

最後に、私たちは行政に要請するだけではなく、新たな事業が円滑にすすみ、多くの住民のみなさんに利用していただけるように、私たちとして努力をしていきたいと思います。

以上、討論とします。